

関係各位

2016年6月10日

ロッテの経営正常化を求める会
株式会社光潤社
代表取締役社長 重光宏之

緊急声明：韓国ロッテグループに対する捜査報道について

ロッテグループにおける一連の経営上の問題において、お客様、お取引先、従業員とご家族及びロッテグループを支えて下さっている皆様にご心配をおかけしている事を深くお詫び申し上げます。

本日、韓国国内において、日本の株式会社ロッテホールディングス（以下、「ロッテホールディングス」）の韓国における中核子会社であるホテルロッテ、及びロッテホールディングスの代表取締役副会長である重光昭夫氏の自宅ほか関係 17 箇所に、韓国の検察が 200 名規模で家宅捜索に入ったとの報道に接しました。

韓国メディアの報道によれば、こうした家宅捜索の目的は、韓国ロッテの事業に絡んでの巨額の裏金作りと、役員による背任・横領行為の容疑とされております。

当社は、ロッテホールディングスの代表取締役副会長の立場にある者が子会社に絡んで本社及び自宅が家宅捜索された事実について、ロッテグループの社会的信用や企業価値が毀損される極めて深刻な事態であると認識しており、また、重光宏之を不当に経営から排除した上で、重光昭夫氏を中心とする経営体制を固めた昨年 8 月 17 日の株主総会決議に基づく現経営体制の重大な問題点が新たに顕在化したものと受け止めております。

当社は、これまでお知らせしてまいりましたとおり、来る定時株主総会において経営刷新を実現するべく株主提案を提出しておりますが、このたびの事態を受け、ロッテホールディングスに対して、事態の全容解明に向けて説明責任を果たすことを求めるとともに、創業以来最大の危機的状況にある事態の重大さに鑑み、定時株主総会に先立って、ロッテホールディングス及び同社第二位株主であるロッテグループ従業員持株会理事会に対して、経営正常化のための緊急協議の場を設けるよう求めます。

以上